

### 北川議員

その他の質問  
・地域包括ケアシステムの構築について

#### 防災対策について

##### Q 質問

3月11日には、甚大な被害をもたらした東日本大震災の発災から3年の節目を迎える。地震・津波・火災・原発事故という複合災害であったため、被害は広範囲に及んだ。その後も、ゲリラ豪雨・竜巻・雪害など災害が頻繁に起きて

いる中、ますますボランティアによる支援活動や地域の要である消防団の処遇改善が求められている。そこで伺う。

①ボランティア活動に係る情報の一元化・活性化を図るための、勝山市災害ボランティアセンターの設置について

②消防団員の退職報償金などの引き上げや団員数確保の取り組みについて

##### A 答弁

①勝山市地域防災計画の改正を行い、市、社協、各種団体による災害ボランティアセンターの設立をめざしていく。

②退職報償金については、条例改正により4月1日より一律5万円程度引上げの予定。報酬や出勤手当については、他の自治体の状況を見ながら検討していきたい。また、団員数確保については検討委員会を

### 一般質問

#### 読書活動推進について

##### Q 質問

近年、活字離れが指摘される中、子どもが豊かな心を育て人生をより深く生きる力を身に付けていく上で、欠くことのできない読書。読書環境の向上のため、積極的な環境整備の推進が求められている。そこで伺う。

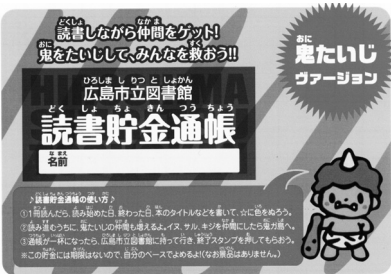
①勝山市第5次総合計画の中の「子どもの読書推進計画」の策定への取り組みについて

②借りた本の履歴を目に見える形で残すことよって、子どもの読書への意欲を高める効果がある「読書通帳」導入への取り組みについて

##### A 答弁

①現在、「子ども読書活動推進計画」の素案づくりを行っており、今後、議会の意見をいただきながら策定していく。

②勝山市としても、他の自治体の取り組みを研究し、検討していきたい。



読書貯金通帳（広島市立図書館）

### 帰山議員

その他の質問  
・国民健康保険と社会保障の新規就業との関係について

#### 任期付き職員採用について

##### Q 質問

東日本大震災への職員派遣について退職者や民間の公募による任期付職員を採用し派遣する考えはないのか。

##### A 答弁

東日本大震災被災地への職員派遣については、大震災当日から消防本部隊員を陸前高田市へ述べ20名、その後の福祉避難所の運営等に市職員と社会福祉法人等職員を延べ69名派遣するなど、全体で112名の人員派遣をしてきた。中長期的な派遣としては、全国市長会の要請に基づき平成24年度は気仙沼市へ土木技師を6カ月間、平成25年度は陸前高田市へ事務職員を3カ月間派遣している。

被災自治体では、未だ技術者をはじめとする人材の不足が指摘されており、各自治体へさらなる職員派遣が求められている現状にある。被災自治体の要望は、行政事務の経験があり、専門的な知識・経験を有する即戦力となり得る職員の派遣を希望されている。そのため市としては職員または退職者の任期付き職員としての派遣を基本に、被災地支援に取り組んでまいりたいと考えている。

#### 新規就農者支援について

##### Q 質問

地元農家の後継者育成の為、新たな支援策を考えるべきでないか。市の考えを伺う。

##### A 答弁

国の新規就農・経営継承総合支援事業では、親元就農を目指す新規就農者にとっては厳しい要件が課せられている。担い手育成や構造改善を図るためにはやむを得ない点もあるが、親元就農であっても人・農地プランにおける中心経営体に位置付け、国の有利な融資制度を活用できる仕組みがある。また県の補助では、45歳以上の親元就農を支援する仕組みがある。

勝山市としては国や県の支援制度などを有効に活用できるよう、新規就農者のニーズに合った支援に努めていく。



稲刈り風景